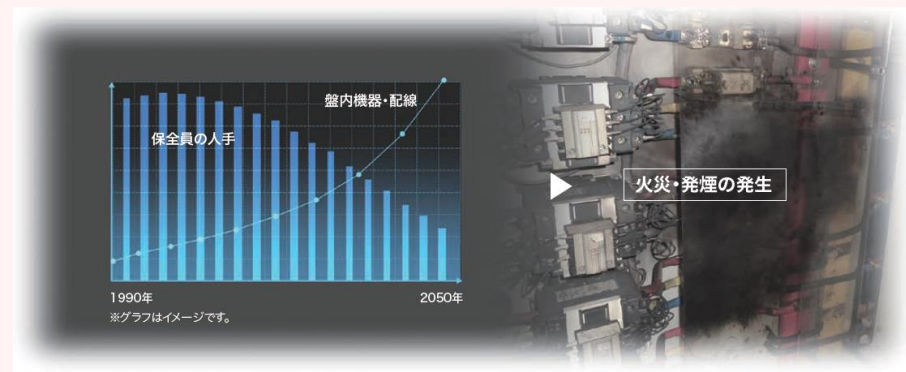


K6PMが制御盤の保全業務をIoT化します！

課題

設備・装置の高機能化による制御盤内の機器・配線増で点検箇所が増える一方、保全員の人手不足により、点検頻度が低下することで事故発生リスク上昇



制御盤内の機器には様々な故障原因があるものの、最終的には**熱の上昇**による絶縁破壊で異常停止につながります

現状の保全スタイル

- ・数少ない熟練保全員が経験を頼りに手動で点検している
- ・盤内の一部しか点検できないため、盤内全体の状態を常時監視できない

盤内温度計測方法

盤内全体の温度を常時計測する方法がない

温度データ蓄積・解析方法

熟練者のノウハウが必要、部分的なデータ蓄積しかできない

	盤内の一部	盤内全体
常時監視	熱電対による1点監視	×
定期監視	発熱監視用端子キャップ	サーモビューア



解決案

温度状態監視機器 K6PM-THがIoT技術による制御盤の「New保全スタイル」をご提案します！

盤内温度計測方法

盤内全体を常時温度計測可能

温度データ蓄積・解析方法

熟練者に頼らず、自動解析で異常箇所特定



- ・熟練保全員に代わり、温度状態監視機器により盤内全体の温度を常時監視
- ・温度データ蓄積から解析の自動化により機器異常の特定まで自動化

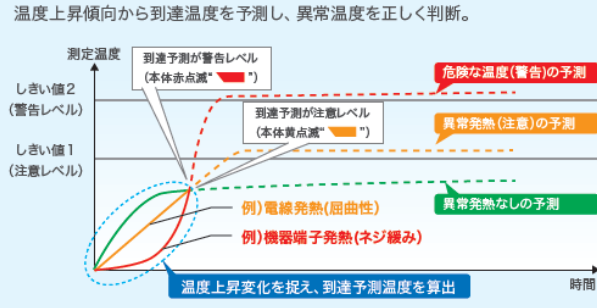
盤内状態監視機器 (K6PM) の特長

● 温度上昇変化を予測し、異常発熱の危険度をお知らせ

保全現場課題

機器の温度が同じであっても異常の原因次第ではその後重大な異常になることがあるが、非連続な温度監視では過去の温度変化まで含めての分析が非常に困難。

これで解決! 到達予測アルゴリズム 特許出願中*



● 複雑な盤内温度分布に最適なしきい値を自動で設定

保全現場課題

経験の浅い保全員では、盤内のそれぞれの機器に対してどのような温度しきい値を設定すればよいのか分からない。

これで解決! 自動しきい値設定アルゴリズム 特許出願中*



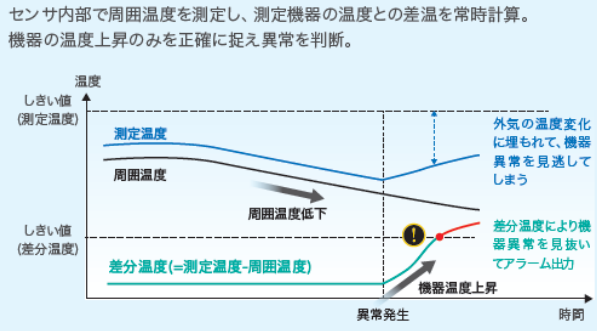
*2019年5月現在

● 周囲温度変化の大きい環境でも、機器の異常発熱を予兆可能

保全現場課題

外気温度の影響を受ける環境下では、測定機器の正確な温度変化が計測できない。

これで解決! 差温検出アルゴリズム 特許出願中*



● 広視野角・小型で場所を問わず最適設置



access here for your information
<http://www.s-dream.net>

甲府営業所
055-228-2008

阪和営業所
073-436-4677

京滋営業所
075-325-1129

神姫営業所
078-919-0601

本社
06-6347-1710